第33号
2022(令和4)
1月24日発行

明大校友会西東京だより

MEIJI UNIVERSITY

新 春 を 迎 え て

西東京市地域支部長　濱田 豊

新年おめでとうございます。本年も皆さまにとりまして、良い一年になりますよう心からお祈り申し上げます。
一昨年からコロナウィルス感染が世界中に広がり、日常的に人との接触を避けるといった孤独な生活を余儀なくされています。校友会活動も例外ではなく、新春交流会に始まり、花見、総会、暑気払い、バーベキュー、ハイキング、市民まつり等々、計画した行事は悉く中止せざるを得ませんでした。人と接触しない、会食を避ける、このような日常は社会的にも好ましいとは言えません。親しく歓談する機会を多く創出しようとする校友会活動と相反するもので、大いに戸惑いを感じています。皆様と親しく談笑する機会を失い誠に残念でした。
このようなことから、密を避けて役員委員会議を毎月開き、西東京紫紺会の土台を固める地道な作業を粛々と進めています。又、コロナ感染を契機として、離れていてもパソコンやスマートフォンを使って情報を交換し合う方法が急速に一般化してきました。このような変化は、今後普通になりそうです。我が西東京紫紺会でも、従来の手法を維持しながらこの波に乗って行けるようにして行きます。西東京紫紺会は、会員の皆さま一人ひとりの明大校友会です。コロナの先行きは不透明ですが、5月の総会でお会いできることを楽しみにしています。
2022年の年頭に当り、皆さまとご家族の健康と幸せを心からお祈り致します。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

会員さんとの親睦

幹事長　伊藤　和明

新年あけましておめでとうございます。新年を迎えて 皆さんのご健康を祈願致します。昨年、幹事長の大役を仰せつかりました。コロナの為、幹事長としての十分な働きが出来なくて残念でした。唯一 昨年 12 月 12 日（日）、武蔵野食堂での「新入会員 歓迎会」が出来たことです。

今期、新たに会員になられた方が８名、その中で「武蔵野食堂」での「新入会員 歓迎会」に出席された方は、河野 潔 さん、後藤 健二さん、山本 祐美さん の三人でした。今年も、新型コロナ ウィルスの影響がどうなるか分かりませんが、

・街歩き、散策（担当：久保田さん） ・六大学野球観戦（担当：栗田さん）

・いこいの森公園での昼食会（音頭取り：伊藤）などで 会員の皆さんとの親睦を図りましょう。

追伸

恒例の 2月の「新春交流会」は、コロナ禍でもあり、今年も控えたい思います。悪しからず ご了承ください。

私の学生時代

林 敦子（短期大学 経済学科 昭和59年卒）

私は、昭和５９年明治大学短期大学 経済学科卒業です。明治大学に短期大学が存在していたのをご存知ない方もいらっしゃると思いますが、調べてみると１９５０年開設２００７年廃止され、当時は短期大学では珍しい法学と経済がありました。

学生生活の２年間はとても忙しく、１年時は月曜から土曜までほぼ朝から講義で、講義後は四谷で軟式テニスをし、夏冬の長期の休みはアルバイト漬けでした。２年生になり、必修科目の他に貿易論ゼミに入ることができ、ゼミ授業が始まりました。並行して卒論作成、そして７月から就職活動と忙しい日々でした。その頃の短大生の就職は、業種にこだわらなければ、何処でも入社できるほどの売り手市場でした。卒業後、卒業証明書を取りに行った際にもまだ、野村証券や旧山一証券、生命保険会社の求人広告が貼ってあったことを思い出されます。忙しい学生生活でしたが、野球の試合の日には講義が休講になり応援に行きました。在学中に明治大学が優勝して大いに盛り上がりました。

１年生の秋には、友人が勝手に申し込んだ「プロポーズ大作戦」というテレビ番組でフィーリングカップル５対５のオーディションに合格し、明治大学短期大学でテレビにも出ました。相手チームは関西大学で、私は運よくカップリングでき、景品をしっかりもらってきました。これもあれも明治大学に在学していたから充実した学生生活が送れたと思っています。これからも明治大学のスポーツを皆さんと一緒に応援していきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

西東京紫紺会　令和３年度　新入会員歓迎会

小林　太

　年も押し迫った１２月１２日、武蔵野食堂にて新入会員歓迎会が行われました。
　久しぶりに、さあ呑めるか！…と思ったら、コロナのオミクロン株が来ているからか、昼間からの昼食会という宴に。しかし、伊藤幹事長の挨拶と水井前支部長の乾杯から始まりました。今年の新入会員は８名にのぼり、うち３名が出席して下さいました。世界を相手に木材の買付に奔走している後藤さん、そしてご主人も明大卒で実家のある西東京市まで足を運んで下さった山本さんという、若い方お二人にも加わって頂きました。そして、伊藤幹事長の近所にお住まいで長きの交流のある河野さんも加入していただきました。今後ともよろしくお願い致します。
　こうした会をする度に感じる事ですが、皆さん色々な業種に就いている人ばかりで、普段の仕事からは接する事がないだろうな、と思うほどです。巷にある異業種交流会というのも入りづらい人間としては、こうした交流が地元で触れ合う事の出来るのも、母校明治大学のお陰だと思い感謝しております。

　いつもの宴とは異なり、大声のない会合となりましたが、２時間の予定であったのが３時間になり、やっと年末に相応しいイベントとなりました。あ、そうそう。こんなご時世だから大きな声での校歌斉唱は今年はありませんでしたが、来年こそはみんなで、白雲なびく駿河台、と歌いましょう！

御岳渓谷散策

紅葉の一日を楽しんできました
ハイキング同好会活動報告

久保田　幸雄

　１１月２０日午前８時３０分、田無駅に集まったのは、伊藤、小垣原、栗田、小林、濱田、松本の各氏と久保田の７名。一路、御岳に向けて西武線に乗り込みました。
　御嶽駅に着いたのは１０時、駅前はハイキングに向かう人々で混雑しています。ようやくコロナ感染症の緊急事態宣言が解けて、多くの人が動き出しているのを実感します。出発しようとしたところ、奥多摩名物のワサビを販売する方が支度を始めたので、見せていただきました。生ワサビが手頃な値段で買えたので、翌日の晩のお菜はお刺身になりました。　最初に向かったのは、「玉堂美術館」。日本画家の川合玉堂(明治６年～昭和３２年)の作品を展示している美術館で、古き良き日本の風景をゆったりと味わうことができました。美術館前の庭園には、黄色のイチョウと紅色のモミジが色鮮やかに紅葉し、とても印象に残りました。　駅前に戻り、多摩川の河原への急な階段を下り、渓谷沿いの遊歩道へと進みます。当日は、カヌーの大会が開かれており、川の流れを次々とカヌーが下っていくのを見ることができました。
　多摩川の渓谷美を堪能しつつ、遊歩道沿いの様々な植栽を眺めながら４０～５０分歩くと、銘酒「澤乃井」の醸造元小澤酒造が運営する「澤乃井園」に着きます。ちょうど

昼食時で園内は混雑していましたが、何とかテーブルを確保し、楽しい昼食タイムとなりました。焼き鳥、おでん、味噌田楽、お蕎麦などをつまみに、様々な味わいの日本酒を飲み比べ、賑やかにマスク会食を楽しみました。この日は天候にめぐまれ、陽の光が暖かで、屋外の食事でも寒さを感じることなく過ごせたのは良かったです。　あとは、ほろ酔い気分で青梅線に揺られ、楽しい一日を閉じることができました。

Sports 結果

◆◆第98回箱根駅伝　2022年1月2日～1月3日
　明治大学14位　11時間00分28秒
◆◆全国ラグビー大学選手権 決勝　2022年1月9日
　明治大学 VS 帝京大学　14 対 27

編集後記

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

2022年、新年早々からオミクロン株の新型コロナ感染者が急激に増えています。そんな状況ではありますが、今年の干支は、壬寅（みずのえとら）です。壬には新しく生まれる、寅には成長するといった意味があるそうで、段々と明るい年になっていくのではないかという思いがしています。

新しいと言えば、明大和泉ラーニングスクエアが3月に竣工予定です。機会があれば行ってみたいと思っています。

今号より、明大校友会西東京地域支部のWebページのQRコードを添付しました。是非、スマホのカメラで読み取ってアクセスしてみてください。　（木村）

発行 ： 明治大学校友会 西東京市地域支部
事務局 ： 西東京市泉町 5-16-19-602（濱田様方）
Tel.042-421-3888
編集　広報委員会 ： 中村俊信 ・ 木村美栄子
http://www.meiji-ntk.com/index.html